

大学の実践事例報告

東京農工大学

地域社会システム調査実習



飯田大学連携会議
「学輪IDA」全体会
【公開セッション】
2014年1月25日(土)



東京農工大学(農学部)について



- 創立140年(明治7年)内務省勸業寮内藤新宿出張所(農事修学所) / 大久保利通が前身となる駒場農学校を創設(顕彰碑)、府中キャンパス(農学部・農学府・連合農学研究科)新宿から約30分
- 農学部5学科(地域生態システム学科を含む)、農学府(大学院)9専攻、連合大学院(博士課程)、農学研究院(研究組織)
- 学生数2,003名(学部1,401名、修士403名、博士199名)、教員数152名(教員1人当たり13.2名)、敷地面積281,107m²(140m² / 学生)2013.5.1

地域社会システム調査実習について



- 自然科学、工学から人文・社会科学まで多様な視点で、自然との共存のあり方を探る(地域生態システム学科 / 1995年開設)
- 農学部地域生態システム学科2年次学生を対象とする前期の実習科目。毎週火曜日6限(18:15 ~ 19:45)の定時開講と2度の現地実習。
- 第1回現地実習(2014年6月29日 ~ 6月30日)、第2回目(8月3日 ~ 8月7日)、一部学生はインターンシップ(8月5日 ~ 8月11日)、中間報告会(12月10日 / 東京農工大学)、現地報告会(2014年2月8日 ~ 9日予定)

授業の流れ(2013年度)

<到達目標> 長野県飯田市という特定の地域における地域調査(機関調査・面接調査・参与観察・ワークショップなど)を通して社会調査の基本的な手法を身につけるとともに、地域の課題に取り組む住民や行政の姿を体験を通して学ぶ。

<授業の流れ> 今年度の地域社会システム調査実習は長野県飯田市をフィールドとする。(1)プロローグ ガイダンス(4/9) 2012年度実習の成果と課題(4/16) (2)飯田のまちづくり・むらづくり 体験的まちづくり論<桑原利彦氏>(4/23) 旧飯田市におけるまちづくり<飯田市役所・上沼大学連携担当主査>(4/39) 遠山郷におけるむらづくり<南信濃公民館・林主事 / 上村公民館・村澤主事>(5/7) (3)社会調査の手法 ワークショップとまちづくり<桑原利彦氏>(5/14) 聞き取り調査の方法1(5/21) 聞き取り調査の方法2(5/28) (4)調査計画をつくる 調査計画をつくるために<桑原利彦氏>(6/4) ~ 調査計画をつくる(6/11,18,25,7/2) (前期調査)現地機関・団体調査(6/15~16) (5)直前準備 調査の心得<桑原利彦氏>(7/9) 調査準備の確認(7/16) (後期調査A)まちづくり班本調査(アジア人形劇フェスタを中心に)(8/3~6) (後期調査B)むらづくり班本調査(上村地区・南信濃地区)(8/5~7) *アジア人形劇フェスタが開催される。(8/6~11) (調査現地報告会)2014年2月

実習(調査)の経過(2011～2012年度)

<2011年度> 飯田市竜東地区
(上久堅、下久堅、千代、龍江) /
獣害と農業について、グリーン
ツーリズムについて、まちづくりの
特徴について / 第1回調査2011年6
月25日～6月26日、第2回調査7月
9日～7月10日

<2012年度> まちづくり班(飯田
市市街地) 飯田市知久町商店街
聞き取り調査及び飯田市中心街地
アンケート調査 / 橋南地区まつりに
出店 / むらづくり班(飯田市上村地
区) 程野・中郷・上町・下栗地域の
調査報告



実習(調査)の準備



(2) 飯田のまちづくり・むらづくり 体験的まちづ
くり論 <桑原利彦氏> (4/23) 旧飯田市にお
けるまちづくり <飯田市役所・上沼大学連携担
当主査> (4/39) 遠山郷におけるむらづくり <
南信濃公民館・林主事 / 上村公民館・村澤主
事> (5/7) (3) 社会調査の手法 ワークショ
ップとまちづくり <桑原利彦氏> (5/14) 聞き
取り調査の方法1 (5/21) 聞き取り調査の方
法2 (5/28) (4) 調査計画をつくらう 調査計
画をつくるために <桑原利彦氏> (6/4) ~
調査計画をつくる(6/11,18,25,7/2) (5) 直前準
備 調査の心得 <桑原利彦氏> (7/9)
調査準備の確認(7/16)

(前期調査) 現地機関・団体調査 (6/15 ~ 16)

< 第1日目 > 牧野市長講義(文化経済自立都市への挑戦) / いいだ人形劇フェスタの取組について(講師: いいだ人形劇フェスタ実行委員長 高松和子 氏) / 農家民泊(南信濃地区)

< 第2日目 > 南信濃地区での現地学習(講師: 遠山郷観光協会会長 近藤力夫 氏) / 上村下栗地区での現地学習(講師: 下栗里の会 会長 野牧武 氏)



(後期調査A) まちづくり班本調査(アジア人形劇フェスタを中心に)(8/3 ~ 6)



< 第1日目 > 団体聞き取り 橋南まちづくり委員長 りんご並木コンシェルジ 橋南連合青壮年会

< 第2日目 > フェスタパーク準備手伝い 休憩時間にボランティアスタッフに聞き取り / 団体聞き取り イデア トップヒルズテナント会 飯田市銀座商栄会 / 行政聞き取り 飯田市公民館 文化会館職員 / 想いの強い人たちとの懇談会

< 第3日目 > フェスタパーク音響と舞台の準備手伝い / 団体聞き取り 飯田商工会議所 飯田まちづくりカンパニー / 行政関係聞き取り 企画課大学・三遠南信連携係 橋南公民館 飯田市公民館 地域づくり・庶務課 市民活動支援担当 商業・市街地活性課



(後期調査B)むらづくり班本調査(上村地区・南信濃地区)(8/5~7)

<第1日目> 3グループに分かれての聞き取り調査 調査先 片町医院 森林組合 若者/農家民泊(南信濃地区)

<第2日目> 3グループに分かれての聞き取り調査 調査先 まちづくり委員会 木沢活性化推進協議会 南信濃公民館/上村自治振興センター 天竜観光タクシー 上村サービスセンター/ロジ下栗泊

<第3日目> 3グループに分かれての聞き取り調査 調査先 若者 上町活性化委員会事務局 喜楽会代表



今後の課題

<農工大の実習でこだわってきたこと>

特定の地域との関わりを重視する。(継続性)

地域の事情に詳しいキーパーソンと丁寧なすり合せを行う。(桑原さん)

実習の成果を地域に返す。(現地報告会、報告書の作成)

実習以外にも教員集団が地域との関係をフォローする。(飯田ムトス大学)



ご静聴ありがとうございました。